

第2学年 道徳科学習指導案

作成者:遠藤 信幸

1. 主題名 あきらめないでがんばるためには (A 希望と勇気, 努力と強い意志)

2. 教材名 「ぴよんたくんの ゴール」 (文溪堂 2年のどうとく)

3. 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

将来、児童が自立し、よりよく生きていくためには、自分がしなければならないことはしっかりとやり抜く粘り強さが必要である。そのような粘り強さはむやみやたらに努力するから身につくのではなく、自分の目標とする姿や、理想を持つことによって育まれていく。まずこの段階の児童には、自分のなすべきことをしっかりと行うことができるようにあきらめずにやりぬく大切さについて考えさせることが大切である。時には、なすべきことが様々な要因からできないと感じる時もあるだろう。そういった時に、友達や親からの賞賛や励ましそしてその存在自体がさらに自分に力を与えてくれることがあることに気づかせる必要がある。本時では、他者とのかかわりによって、しなければならないことをしっかりとやり抜くためには、他者とのかかわりも大切であることに気づかせたい。そして、どのような状況でも自分がしなければならないことはしっかりとやり抜くことの大切さを感じ取らせたい。

(2) 児童の実態

この時期の子どもたちは学習・生活において自分がしなければならない学習の課題や生活の仕事などについて前向きな気持ちをもって取り組むことができる。集団での生活ならばそのような思いをもつ子が多い。ただ一人一人の学習や仕事の様子としては「あきらめよう」「したくないな」という思いから前向きに取り組めないときもややある。授業では「困難を乗り越えて」という視点よりも「あきらめずに続けていくことの大切さ」や「何かをやり抜くための他者とのかかわりの大切さ」について気付かせ、どのような状況でも自分がしなければならないことはしっかりと行う気持ちを育てたい。

(3) 本時の教材について

主人公がマラソン大会で追い抜かされ意欲を喪失しかけるが、葛藤を乗り越え再度走り始める。その葛藤について十分に話し合わせ、最後までやりぬいた爽やかな気持ちやあきらめずに続けることの尊さに気付かせたい。他人との比較や自分の能力以上のことでなく、地道なことでも自分がやらなければならないことを続けていくことの大切さに気付かせたい。

4. 本主題で育む資質・能力とそれを育成する主な手立て

| 学習場面 | 関連する主な資質・能力 | 資質・能力を育成する主な手立て |
|---------------------------|----------------|---|
| ・ぴよんたくんがまた走り出した理由について考える。 | ○問題解決力 | ○ぴよんたの心情に共感させながら努力を続ける理由についての問いの場の設定 |
| ・今日の学習からどんなことを考えたか振り返る。 | ○メタ認知力 ○向上心 | ○努力することについて感じていることを振り返る場の設定 ○よりよくなりたいという思いを言語化する場の設定 |

5. 本時のねらい

あきらめそうな状況でも他者とのかかわりが自分に力を与えてくれることを理解し、自分がしなければならないことはしっかりとやり抜く心情を育てる。

6. 本時の展開

| | 予想される児童の活動（○主な発問） | ◇資質・能力を育成する主な手立て◆評価 |
|-----------|---|---|
| つかむ | <p>1. 「あきらめそう」になった時のことを思い起こす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字の練習をやめなくなった。 習い事がうまくいかなかった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> 「あきらめない」でがんばるために必要なことは？ </div> | <p>◇自分がしなければならないことを途中で止めたくなる気持ちを思い起こさせ、教材や価値と関連づける。（メタ認知力）</p> |
| 資料を中心に考える | <p>2. 教材「びよんたくんのゴール」を読んで、話し合う。</p> <p>○スタートする前、びよんたくんはどんなことを考えていたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ぼくが、一番になる。 絶対負けない。 <p>○友達に抜かされて走るのを止めた時、びよんたくんはどんなことを考えたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 僕が負けるなんて・・・。 やる気がなくなった。 みんなに負けるなんて恥ずかしい。 <p>◎びよんたくんがまた走り出したのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> こりんちゃんが頑張っているのを見たから。 途中で止めるのは、恥ずかしいから。 1位じゃなくても、途中で止めるよりいいから。 最後まで頑張る方が気持ちがいいから。 <p>○「あきらめそう」になった時、どんな気持ちがあるとがんばれるのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> 負けたくないという気持ち。 周りの人の気持ち。 自分にもできることがあると前向きな気持ち | <p>◇教材を半分だけ提示し、教材の結末を読まないことによって、「他者とのかかわり」という視点について考えさせる（他者に対する受容・共感・敬意）</p> <p>◇びよんたくんの足の速さは、自他共に認める事実であることを確認することによって、びよんたくんの気持ちに気づかせる（他者に対する受容・共感・敬意）</p> <p>◇教材の残りを提示し、「他者とのかかわり」について考えさせる。</p> <p>◇走り出した訳を切り返して発問をし、主題にかかわる児童の思いを出させる。 （努力を続ける理由についての問いの場の設定：問題解決力）</p> <p>◆あきらめそうな状況でも他者とのかかわりが自分に力を与えてくれることを理解することができたか。</p> |
| 見つめる | <p>3. 自分の生活を振り返る。</p> <p>○今日の学習からどんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> なわとびの練習が大変で嫌だと思ったけど、あきらめないで練習する。 自分も友達がいるからがんばることができる。 | <p>◇ノートに書かせる。十分時間をとる。 （努力することについて感じていることを振り返る場の設定：メタ認知力） （よりよくなりたいという思いを言語化する場の設定：向上心）</p> |
| まとめる | <p>4. 教師の説話を聞く。</p> | <p>◇派手な内容でなく、地道に続けていることを話す（他者に対する受容・共感・敬意）</p> <p>◆自分がしなければならないことはしっかりとやり抜く気持ちを育むことができたか。</p> |